

なとり市議会だより

2022.11.1 No.180 令和4年9月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと…………… P2
- 防災会議の委員数を増員します…………… P7
- 税金の使い道をチェックしました…………… P9
- N-WATCH(エヌ・ウオッチ)…………… P14



議員が聞いた

こんなこと

一般質問

一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切な内容について市議会議員が市に対して質問を行います。

9月定例会では、9人の議員から23項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



福祉

コロナ禍でも障がい児者の
安心な暮らしを確保すべき



大久保 主計

Q 新型コロナウイルス感染拡大で、障がい児者の暮らしは不安が増大し、困難な状況と不便さを強いられている現状をどう捉えているか。

A 苦慮されていると捉えている。

Q 障がい児者の方へのワクチン接種は、障害特性に応じた合理的な配慮の提供をして、当事者の声を聞き、障がい児者の負担を軽減すべき。

A ワクチン接種なども含め障がい児者に対する合理的配慮をできる限り考える。

Q 障がい児者本人や家族が感染したときの対応や課題、今後の取組は。

A 一般の方と同じ対応となる。療養方法の選択肢が限られ、家族分離が難しいが、市ができる対応には限界がある。

Q 障がい児者が感染したときは地域居宅介護サービス等の利用はできるのか。

A 感染リスクがあるので難しいのが現状である。

Q 感染すると社会から孤立し家族だけに負担が集中するのは問題である。また、新型コロナウイルス対応で窮地に立つ障害福祉サービス事業者が、事業継続可能となる施策を関係者と協議して実施すべき。

A 事業者の実態把握に努め、施策の必要性を検討する。

Q 障がい者等地域づくり協議会や基幹相談支援センターを中心に障害福祉サービス事業者と連携を図り、コロナ禍でも障がい児者の安心した暮らしを確保すべき。

A 事業所と連携を図り、取り組んでいく。

質問した内容

- 1 新型コロナウイルスと障がい児者の暮らし
- 2 手話言語条例の施行

策 政

4病院再編問題での市の対応を明らかにすべき



齋 浩美

Q 植松入生地区の候補予定地を公表後、今日までに県との協議・折衝などはあったのか。

A 現在、県等が建設場所を含め調査業務を進めており、県との協議・折衝を行う段階には至っていない。今日までに具体的な協議や折衝はない。

Q 8月25日に、障がい者団体等が市長に要望書を手渡し、意見交換をした。市長は「県にしっかり伝える」と応じたが、要望の受け止めや考えなどを明らかにすべき。また、いつ、どのような形で県に伝えるのか。

A 利用されている患者さんやリハビリを続けている方、現場で働く方々の声は、重く受け止められなければならない。また、本市で半世紀にわたり共生のための努力が重ねられ、グループホームなどの生活基盤も形づくられてきたことを改めて理解した。一方で、人口減

少下における県全体の政策医療も含め、持続可能な医療をどのようにして提供するのかに始まり、専門家による議論などを踏まえて現在の再編案が示されたという経過もある。そのような中ではあるが、当事者の方々の声ができるだけ反映されるよう、要望を頂いて間もなく、県に要望の概要等を伝えている。

Q これまでに県の反応はあったのか。

A 現在までに反応はない。

質問した内容

- 1 旧統一協会との関係
- 2 市内に立地する県立がんセンター、県立精神医療センターを含む4病院再編問題
- 3 新一般廃棄物最終処分場建設候補予定地の選定
- 4 名取市身体障害者福祉協会の運営と課題
- 5 防災関連環境の改善

スポーツ

トレーニング室の利用者ニーズに応じた設備の充実を



板橋 美保

Q 市民体育館トレーニング室の設備状況は。

A 2つあるトレーニング室の1室に、ランニングマシンなど4種類8台、もう1室に、バーベルやダンベルなど10種類17台の器具を設置している。

Q 器具の点検状況は。

A 指定管理者である名取市スポーツ協会の職員が、日常点検を行っている。また、令和3年度に業者へ委託して点検を行った。

Q 使用中の器具はあるか。

A ラットマシンは、部品の在庫がないため使用を中止している。更新について市長部局と相談していく。ランニングマシンは、4台のうち2台が壊れ、令和元年度に利用者の意見を参考にストライダー2台を購入した。

Q 利用促進を行うべき。

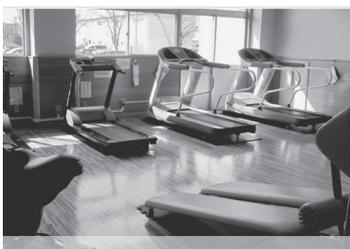
A 設備の修理や更新は、必要に応じ、これまでも随時行ってきた。今後、利用者の声を伺いながら修理・更新に取り組んでいきたい。トレーニング教室の開催等は、利用状況や利用者の声を伺いながら、スポーツ協会とも相談していきたい。

Q トレーニングメニュー表の作成や器具の使い方ホームページに掲載すべき。

A 利用者に必要な情報をどのように提供するか考える。

質問した内容

- 1 スポーツ施設
- 2 道路の管理



Q 利用者のニーズに応じた設備の修理や更新について、年次計画を策定し、トレーニング教室の開催などによ

市指定避難所の熱中症対策は



波 森 穂

Q 本市での直近3か年の熱中症症状の搬送者数と重症度の割合を伺う。

A 搬送人員は合計88人で、症状別では重症はなく、中等症が47割、軽症が53割である。

Q 屋内搬送者の冷房の使用状況は。

A ほとんど使用していなかった。

Q 避難所では、どのような熱中症対策を取っているのか。また、熱中症対策としての備蓄品の整備状況は。

A 指定避難所の学校の教室や公民館の研修室など、一部にはエアコンがある。また、屋内体育施設や公民館のホール等には、ほとんどエアコンはなく、扇風機のみという状況である。施設管理者と協議を行った上で、エアコンや扇風機を利用しながら熱中症にならないように対策を講じている。

Q 熱中症対策としての備蓄を検討する考えはあるか。

A 今後は、夏季の自然災害等に備え、保冷剤等の備蓄品を整備する。

Q 指定避難所のうち、市の施設にスポットクーラーや大型扇風機等を配置すべき。

A 施設の一部に設置される空調機器や扇風機などの備品を活用することを基本として、スポットクーラーや大型扇風機等については必要数を確認しながら配置について検討したい。

質問した内容
1 小中義務教育学校において子供からのSOSを受け止める取組
2 避難所の熱中症対策



住民説明が途中の場合、届出書は受理せず行政指導を



夫 昌 菊 地

Q 令和3年に改正された「名取市中高層の建築物の建築に関する指導要綱」改正後、以前と同じマンション管理組合より、紛争調整申出書が提出された。紛争が発生している現状や指導要綱運用における課題をどう捉えているか。

A マンション管理組合と建築主が相互に理解を深め、解決に至っていないことは誠に残念である。市として指導の内容や手続きの流れについてパンフレット等の改善を図り、当事者に対し、指導要綱の主旨をより正しくまた分かりやすく理解していただけるよう努める。

Q 指導要綱第7条の説明が途中である場合は、第9条に規定する図書は受理できない運用とし、指導すべき。

A 第7条は近隣住民と建築主間での話し合いによって紛争を回避することを目的としているが、仮に紛争が生じた場合、一方の主張のみ

を聞き入れ、関係図書を受理しないことはできないと考える。

Q 近隣住民の皆さんは、7条1項及び同4項に明記された説明すべき内容の説明を終えていない場合、指導要綱にのっとり行政指導が行われるべきと解釈されている。この点確認したい。

A 指導要綱には強制力がない。説明会が開催され、その時点で住民の理解が十分でなくても、届出書が出された場合、市としては行政手続法にのっとり受理せざるを得ない。

質問した内容
1 名取市中高層の建築物の建築に関する指導要綱



福祉

特別障害者手当の支給条件 など制度の周知を図るべき



小野寺 美穂

Q 特別障害者とは、20歳以上であり、政令で定める著しく重度の障害の状態にあるため、日常生活において

常時特別な介護を必要とする者である。特別障害者手当の支給実態は。

A 障害の種類や部位によって、該当する基準が大きく異なる。施設入所または入院していない方に支給される。本年7月末時点で、受給者数は46名。身体障害者手帳所持者が17名、療育手帳所持者が15名、複数の手帳所持者が14名である。

Q 介護保険法で、有料老人ホーム、グループホーム、サービス付き高齢者住宅等は居宅サービスと位置付けられており、支給対象である。病院または診療所も、利用3か月までは対象となるのではないか。

対象となる。

QA 介護費用負担軽減の観点から、障害者手帳を所持していなくても要介護4及び

5の人は支給対象となる可能性がある等、制度の周知を図るべき。

A これまでは、障害者手帳を交付する際の窓口において、対象となる可能性が高い方に案内をしてきた。指摘のとおり、障害者手帳が交付されていなくても支給対象となる場合もあるので、窓口や市ホームページの案内を分かりやすく改める。また、介護保険事業者や地域包括支援センターにも協力をお願いしていく。

質問した内容

- 1 安倍晋三元首相の国葬
- 2 特別障害者手当
- 3 「生理の貧困」問題への取組の継続性



福祉

男性用個室トイレにサニタリーボックスを設置すべき



菅原 和子

Q 障害者手帳の情報を事前にスマートフォンに登録することで、交通機関等で手帳の代わりに利用できるデジタル障害者手帳アプリ「ミライロID」の利用が広がっている。本市の行政サービスにおいても障害者手帳アプリの活用を図り、障害者の利便性向上に努めるべき。

A 障害者手帳アプリでもなとりん号で障がい者割引サービスが受けられるよう、早急に調整する。

Q 国土交通省では令和2年6月「公共交通機関を利用する際の障害者手帳の提示などの本人確認について、バスやタクシーなど公共交通事業者団体に宛て、障害者に過度の負担とならないようミライロID提示が手帳に代わるものとして運用して差し支えない。」との見解が示されたが、周知は、早急に取り組む。

QA 国立がんセンターによる

と、男性のがん罹患者数の第1位が前立腺がんである。前立腺がんなどの病気や加齢に伴い、尿漏れパッドを利用する男性が増えている。公共施設の男性用個室トイレにサニタリーボックスを設置すべき。

A 市役所庁舎の男性用個室トイレへサニタリーボックスを設置し、その利用状況を勘案し、他の公共施設への設置について必要性を検討する。

A 教育施設の一部では既に設置済みだが、その他の施設への設置も検討していく。

質問した内容

- 1 市民福祉サービス
- 2 化学物質過敏症





吉田 良

Q 昭和三陸津波の標柱は、昭和8年に発生した地震による津波が到達した場所4地点に寄附金によって設置された石碑である。第4号が仙台東部道路西側の名取川右岸の堤防に現存し、現在は南側に30度ほど傾いている。案内板の設置の経緯と標柱の管理の現状は。

A 案内板は市が平成13年度に設置した。標柱と同様に河川堤防区域への設置となることから、国から河川占用許可を受け設置している。標柱は、昭和の頃から既に傾いた状態であったと承知している。

Q 案内板には、標柱の東西南北4面に刻まれている文字のことなど、簡単な解説が書かれているが、平成26年に市登録文化財になったことや、平成28年に第3号が貞山運河で発見されたことなどは書かれていない。標柱が傾いている状態を正常化し、市登録文化財である

ことを表示するなど案内板を更新すべき。
A 教育委員会と相談する。市長部局と連携し、河川管理者である国に相談していきたい。
Q 現在、案内板は防災安全課、標柱は教育委員会が管理している。一括して教育委員会の管理下に置くべき。
A 市登録文化財に指定した際に、教育委員会に移管すべきだったと考える。
A 教育委員会としては、一体として教育委員会で管理することが妥当だと考える。

- 質問した内容
- 1 街路樹の管理
 - 2 校内合唱コンクールの上位大会
 - 3 昭和三陸津波の標柱



荒川 洋平

Q 名取市サイクルスポーツセンターが令和4年10月でオープンから2年を迎えるが、評価と課題は。

A 開業から2年を待たずして来場者30万人を達成するなど、交流人口の拡大に大きく寄与している。課題は、コロナ禍の影響や、条例に基づく料金設定により宿泊キャンペーンなど臨機応変な料金変更が困難なことが挙げられる。

Q 令和3年度の利用者数は、宿泊4301人、日帰り入浴4万8329人、屋外施設8万9913人である。目標人数の達成率は、全体で65・7割である。令和3年度の収支状況は、指定管理料は1億4850万円、使用料収入は約8282万円、差引きマイナス約6567万円である。

Q より多くの方に利用してもらえよう、将来的な運営の在り方の見直しを含め、サービス向上に努めるべき。

A 指定管理者制度による利用料金制の導入も含め、将来の在り方を検討する。
Q 現状、指定管理者がさらにサービスをすれば、経費がかさみ管理者の利益は減る。そこで、現在の赤字額約6500万円を指定管理料として支払い、利用料金も管理する「利用料金併用制」を導入し、収支決算で収入の黒字分一定割合を市に納付することにはどうか。
A 可能性はあると考える。調査研究をしていきたい。

- 質問した内容
- 1 新一般廃棄物最終処分場
 - 2 サイクルスポーツセンター
 - 3 部活動の地域移行



9月定例会

議案審議

名取市の

こんなことが決まりました

9月定例会 会期 9月6日～9月28日

9月定例会の議案は

市長提出議案

報告	4件
認定	3件
条例	4件
補正予算	10件
同意	2件
議決案	4件
議員提出議案	
意見書	2件
その他	1件
計30件	

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」を御覧ください。



〔議案第67号〕 名取市防災会議条例の一部を改正する条例

Pick up 1

防災会議の委員数を30人から42人に増員します

本市における防災会議の審議に多様な意見が反映されるよう、委員に占める女性の割合を高める取組を強化するため、委員を増員します。

こんな質疑がありました

増員する根拠は。

内閣府において女性の視点に立った防災・復興の取組促進が図られており、市防災会議の女性委員の登用について、30割を目指すこととされたことによる。

係の方、JA女性部や商工会女性部、女性消防隊や民生委員等の各種団体を考えたい。現在、30人中女性は1人だけであり、新たに12人の女性を登用することで、女性の比率は約31割となる。

Q 12人増やす対象としてどのような人を考えているか。

また、12人増加後の女性の割合は。

A 委員の選任は市長が行うことになるが、女性が主体となって活躍する防災教育に携わる市民団体や看護関

係の方、JA女性部や商工会女性部、女性消防隊や民生委員等の各種団体を考えたい。現在、30人中女性は1人だけであり、新たに12人の女性を登用することで、女性の比率は約31割となる。

令和3年度 決算審査

税金の使い道を

チェックしました

一般会計歳入総額

436億9,840万円

一般会計歳出総額

419億1,858万円

市長から提出された令和3年度の決算について、財務常任委員会において審査を行いました。

財務常任委員会では、一般会計歳入を全体会で、一般会計歳出・特別会計・企業会計を3つの分科会で分担して審査を行いました。

財務常任委員会の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



総括質疑 1

会派名 名和会

吉田 良 議員

河川現況測量調査の進捗と課題は

Q 名取市要保護児童対策地域協議会による「児童虐待防止に係る研修会」の成果を、施策にどのように反映させたのか。

A いち早く現場で児童虐待の疑いに気づけるようになったことで、学校等からの相談件数が増加した。保育所や学校等への巡回を行い、さらなる強化を図った。

Q 河川現況測量調査の進捗と、把握できた課題は。

A 市が管理する13河川について、測量、堤防や護岸の点検、支障木や堆積土砂の状況調査等を実施した。対策が必要とされたのは、針山川、大沢川、棟沢川、桑唐沢川及び南沢川で、できるだけ早期に流下能力の向上を図ることが課題である。

決算審査のスケジュール

日にち	内容
9月20日(火)	本会議(総括質疑) 全体会(一般会計歳入補足説明)
21日(水)	全体会(一般会計歳入)
22日(木)	第1分科会 (総務部・企画部・消防本部ほか)
26日(月)	第2分科会 (生活経済部・建設部ほか)
27日(火)	第3分科会 (健康福祉部・教育部ほか)
28日(水)	全体会(分科会委員長報告・採決) 本会議(採決)

総括質疑3

会派名 日本共産党議員団 齋 浩美 議員

館腰遊歩道の法面調査の結果は

Q 館腰遊歩道法面維持管理地盤調査の結果は、結果を受け、教育委員会などとの協議は行われたのか。

A 令和3年度に実施した地盤調査では、近年の豪雨で発生した小規模の崩壊が4箇所確認されたが、遊歩道や隣接する水路・宅地等に大きな被害を与えるような崩壊や落石、地滑り等による大規模な土砂災害が発生する可能性は低いとの見解が示された。このため早急に防護施設等を設置する状況にはないが、近年の異常気象の状況も考慮しつつ、注視・監視を行っていくことが必要である。なお、調査結果を踏まえた教育委員会との協議は令和3年度はしていない。

総括質疑2

会派名 青雲倶楽部 山田 龍太郎 議員

保健・福祉・医療分野について

Q 新型コロナウイルスワクチン接種事業として、医師会との連携・協力体制の下、取り組んだ内容と成果について伺う。

A 名取市医師会をはじめ県立病院機構などから多くの医師・看護師の協力をいただいで実施した。受入体制の整備を図り、延べ8万6482人への接種が実施された。

Q 子育て・教育先進都市の実現に向け、中学3年生を対象とする学校給食費の無償化の実績について伺う。

A 令和3年度の学校給食費無償化の実績は、13万2703食分、4305万7723円の実績額である。

第1分科会 市のプロモーション活動に取り組みました

総務費では、情報開示の実績、市のプロモーション活動の成果、消費生活相談事業の実績、交通指導隊の活動状況、RPAを導入した業務の成果について審査しました。

消防費では、危険物施設、防火対象物の巡察指導の実績、水難事故の内容及び対応状況、消防団の火災出動の依頼状況、防災対策に係る出前講座の開催実績、水防訓練の実施状況及び水防用資機材の整備状況等について審査したほか、土地取得特別会計について審査しました。



全体会 歳入について様々な角度から質疑を行いました

市税では、収納方法別の納付割合等や滞納処分等についての質疑がありました。納付方法は金融機関が一番多く、次に、口座振替が34.34%、コンビニ納付が19.33%、PayPayが1.38%であると説明がありました。



使用料及び手数料では、サイクルスポーツセンターの新型コロナウイルス感染症による休業や宿泊のキャンセルの影響などの質疑があり、事前決済の必要性について検討したいとの説明がありました。

そのほか、国・県からの交付金や補助金など、幅広い財源について様々な観点から審査しました。

第3分科会

学校・家庭・地域連携協力推進事業に取り組みました

民生費では、緊急時ショートステイ事業の実績や老人クラブ活動等助成事業の実績と課題、子育て支援拠点施設 cocoI'll（ここいる）の取組内容等について審査しました。



衛生費では、新型コロナワクチンに係る相談の対応状況や育児ヘルプサービス訪問事業の実績と課題等について審査しました。

教育費では、不登校児童生徒の実態と取組について、学校図書整備の取組と課題、学校・家庭・地域連携協力推進事業の実績、学校給食の残食に対する取組等について審査しました。

また、国民健康保険特別会計、休日夜間急患センター特別会計等について審査しました。

第2分科会

LED灯の設置が進みました

総務費では、交通安全街路灯の設置状況等について審査しました。

衛生費では、五社山自然散策路マップの活用状況等について審査しました。

農林水産業費では、利用権設定等促進事業への米価下落の影響等について審査しました。

商工費では、自転車周遊促進実証事業やアフターコロナチャレンジ支援事業の取組状況等を審査しました。

土木費では、水路浚渫業務の取組状況、館腰遊歩道法面維持管理地盤調査の取組状況等について審査したほか、水道事業会計や下水道事業等会計等について審査しました。



令和3年度決算審査 討 論

このような理由で、賛成しました

賛成

大友 康信 議員
(一般会計)

コロナ禍に延べ15万8千人ものワクチン接種を円滑に進められたことを評価する。その副反応が現れた救急搬送9人を含む445人に対応しており、予防接種健康被害救済制度の相談は30件に及んだ。変異するウイルスに当初のワクチンで効果があるか疑義を訴える声もあるので、これまで集積したデータを分析して、今後、接種の判断材料を分かりやすく示してもらいたい。

河川現況測量調査による5河川の浚渫土量の把握を評価する。一日も早く浚渫されることを期待する。

小中学校のいじめの認知件数は145件だが、解消率は半数を超えており、先生方の丁寧な対応を評価して感謝したい。

賛成

小野寺 美穂 議員
(一般会計)

令和2年度繰越事業の館腰地区浸水対策計画委託は、令和3年度末に完成したが、引き続き浸水対策の着実な進捗を求める。

道路・公園等の草刈りでは、高齢化などもあり、対応が難しくなっている地域も少なくない。抜本的な対策を考えておくべきではないか。また、くさ・かり・スッキリ隊には、替え刃や燃料費が支給されているが、特に夏場に道路等で作業をする場合、飲料水を支給するなどの配慮を求めたい。

新型コロナウイルス感染症や地震等の自然災害、円安や物価高騰など、市民に多大な影響を及ぼす事象も多い。市民生活を第一に考えての事業の執行を願う。

委員会活動報告

7月から8月初旬に各常任委員会の行政視察を実施しましたので、お知らせします。

各常任委員会では、これらの学んだ成果を生かし、積極的に活動を展開しています。

委員会調査報告書は、市議会ホームページで御覧いただけます。



総務消防

北海道北見市・美幌町・網走市を視察しました

北見市では、窓口業務における申請書様式の標準化、証明書の統合化等ワンストップサービス推進事業などについて調査した。

美幌町では、移住定住特設サイトを開設しての情報発信、空き家等を活用しての移住支援事業等について調査した。

網走市では、ペーパーレ

ス化の推進、データ分析による移住定住の推進、ワンフロアストップサービス等DX推進計画について調査した。

市民目線の窓口業務及び人口減少地域の移住定住推進等を参考に、本市の市民サービス向上及び地域活性化につなげていきたい。

建設経済

岩手県八幡平市・紫波町・秋田県湯沢市を視察しました

八幡平市では、同市におけるスマート農業の事例として、最先端のIoTと地熱を活用した全自動水耕栽培でバジルを栽培している現場を視察し「スマート農業の推進」について調査した。

紫波町では、公民連携基本計画のもとPPP手法を基本に始動した「オガール

プロジェクト」について調査した。具体的なまちづくり構想、資産価値の引き上げ方策、PPP手法の活用など成功事例を学んだ。

湯沢市では、中小企業の主体的な企業経営促進や革新的な事業展開を支援する初期相談窓口である「ゆざわーBiz（ビズ）」について調査した。

民生教育

北海道石狩市・苫小牧市・北広島市を視察しました

石狩市では、地域の子供の拠点「こども未来館あいぽーと」を調査した。多くの異年齢児童生徒の居場所・活動場所・生活の場として、子供の視点や意見を運営や活動に活かした事例を学んだ。

苫小牧市では、小中学校の義務教育9年間を見通した教育活動「苫小牧型小中

連携教育」を調査した。

北広島市では、地域に分散する多彩な遺産を市民との協働でまちづくりに活かす「北広島エコミュージアム事業」を調査した。

これら市民や子供の視点を重視し、住民との連携協働で取り組む事例を参考に、住民主体のまちづくりを進めていきたい。

No.1

9月定例会では、1件の陳情が提出されました

○陳情

◆令和4年3月16日福島県沖地震による復旧工事に関する陳情

(名取土地改良区 理事長 今野 慶一)

No.2

議員提出議案(意見書)について

市議会では9月定例会において「揮発油税及び地方揮発油税(ガソリン税)の抜本の見直しや簡素化による負担軽減を求める意見書」と「刑事訴訟法における再審規定の速やかな改正を求める意見書」を全会一致で可決し、内閣総理大臣等宛てに提出しました。

No.3

人事案件に同意しました

今期定例会には、3か件の人事案件が提案されました。

◎名取市教育委員会教育長

(9月6日上程・同日原案同意) 瀧澤 信雄氏

◎名取市教育委員会委員

(9月6日上程・同日原案同意) 長澤 裕司氏(那智が丘)

◎人権擁護委員候補者

(9月6日上程・同日原案可決) 井上 幸太郎氏(高館吉田)

議会を傍聴しよう

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止の御協力を頂いております。詳しくは、市議会ホームページで御確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。



議会を読もう

名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでも御覧いただけます。



議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。

陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

議会を動画で見よう

本会議や議員協議会の模様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひ御活用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会等の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひ御活用ください。



令和4年12月定例会は、**12月7日(水)**開会予定です。

N WATCH

エヌ・ウオッチ



代表理事 **すなが 須永** つとむ **力**さん

今号の表紙を飾ってくれた、一般社団法人プレーワーカーズの皆さんからお話を伺いました。

子供の遊び場(居場所)のあるべき姿とは

一般的に子供は大人が育てる弱い存在だと思われていますが、自由に遊び様々な人や自然や体験と出会う中で、自らの世界を広げ育つ強さを持っています。プレーワーカーズは、プレーパークという地域の人が運営する場づくりを広げ、子供が遊び育つ社会を目指しています。

どのような活動をしていきたいですか

プレーパークという場を広めるだけでなく、子供の遊びを大切に思う人も増やしていきたいです。日々の活動の中から見えてくる子供の課題や遊びの大切さを発信していきます。

議会懇談会を開催します

市議会では、より近くで皆様の声をお聞きするため、議会懇談会を開催します。

全議員が3班に分かれて各会場に伺いますので、ぜひ皆様の議会や市政に対する声をお聞かせください。

また、様々な角度から御意見を伺うため、関係団体(参加は団体関係者のみ)との懇談会も併せて開催します。

○市民との懇談会 (どなたでも参加できます)

開催日時	会場	テーマ
11月 7日(月) 午後7時	高館公民館	①公共交通体系の今後(デマンド型)について
11月 8日(火) 午後7時	増田西公民館 名取が丘公民館	②空家対策の条例について
11月 9日(水) 午後7時	ゆりが丘公民館	③地域の課題について(意見交換)
11月10日(木) 午後7時	愛島公民館 相互台公民館	

○関係団体との懇談会 (団体関係者のみ)

- 11月16日(水) 名取市交通指導隊
- 11月16日(水) 名取市観光物産協会
- 11月16日(水) 宮城県聴覚障害者協会

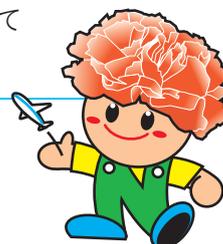
編集後記

委員
熊谷 克彦

今回の定例会では、令和3年度歳入歳出決算について審査を行いました。既に執行された事項ではありますが、市民目線で、なぜそのような経過に至ったのか、どのような成果があったのか等の疑問をそれぞれの議員が積極的に行いました。審査を通して、市民サービス向上や市民福祉の増進につながっていくものと捉え

ております。また、それぞれの議員が市民の負託に応え得る議会活動を行っていることを認識したところです。

さて、味覚の秋、スポーツの秋、読書の秋等いろいろありますが、それぞれのお好きな秋を満喫し、市民一人一人に笑顔があふれることを願っております。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

